

火山がつくった伊東の大地 伊豆半島ジオパーク 伊東エリアガイド

ジオパークとは・・・

ジオとはギリシャ語で「地球」や「大地」を意味する言葉。ジオパークは、地質学や地球科学の見地から重要とされる地層・岩石・地形などを貴重な遺産と考え、保護と活用を図る「大地の公園」を示します。貴重な美しい地質や地形を含めた自然遺産を保全するとともに、ジオツーリズムを通じて地球科学の普及や環境・防災教育を行い、さらにこれらの活動を通じて、地域の持続的な発展を目指します。

お問い合わせ

発行：伊東市 観光課

〒414-8555 静岡県伊東市大原二丁目1番1号

TEL：0557-36-0111 URL <http://www.city.ito.shizuoka.jp/>

協力：伊豆半島ジオパーク推進協議会

TEL：0557-32-1784

URL <http://izugeopark.org/> izugeo

火山がつくりった 伊東の大地

伊豆半島ジオパーク伊東エリアの特徴は、何と言っても伊豆唯一の活火山、つくった、大室山。伊豆高原・城ヶ崎海岸などに代表される新鮮な地形と、火山群は約15万年前から現在まで活動を続けている活火山であり、伊東工の活動によりつくられた伊豆半島でもっとも新しい大地といえます。この地形は、観光地として利用されるとともに、火山活動の様子をわかりやすく

「ジオ」の恵み ~温泉~



火山噴火をもたらすマグマは温度の高い地熱となり、地中深くしみこんだ地下水を温めます。この温められた地下水には、岩石の中から様々な成分が溶け出し、その後、温泉として地上に湧き出ます。伊東市の豊富な温泉も、ジオの恩恵を受けています。



大東館には、第二次世界大戦時に掘られた防空壕を利用した温泉施設があります。この防空壕は馬場平一鉢ヶ窪火口から噴出したスコリアの層の中に作られており、スコリア層の見事な断面が観察できます。このようなスコリア層の断面は、伊東市街の各所で見ることができます。

「ジオ」の恵み ~海~



伊東市内ジオサイト周辺の海は、プレートの沈み込みにより、陸から近い場所でも水深が深い場所があります。そのため、浅い場所に生息する魚や深海性の魚など幅広い種類が水揚げされ、これを活用した地元グルメも堪能できます。



ダイビングなどのマリンスポーツも、ジオの恩恵を受けています。日本有数のダイビングスポットである城ヶ崎、約4,000年前の大室山の噴火により形成されたその地形の下には、多種多様な魚たちが生息しています。



、伊豆東部火山群が
造形です。伊豆東部
エリアの大地は火山群
のような新しく新鮮な
く伝えてくれます。

小室山（こむろやま）

JR伊東駅よりバスで約15分



小室山は約1万5,000年前の噴火によってつくられたスコリア丘です。小室山から流れ出た溶岩は伊豆東部火山群で最大の5億3,000万トンで、小室山の四方にまるで花びらが開いたような形の分厚い溶岩台地を形作っています。山頂からは小室山の溶岩が作った川奈・吉田地区が一望でき、天城連山や伊豆七島など360度の景観を楽しめます。

一碧湖（いっぺきこ）

JR伊東駅よりバスで約20分



一碧湖と沼池は約10万年前の噴火でできた火山湖です。この火山湖をつくった噴火は水とマグマが触れ合って生じた爆発的なものでした。その結果、火口内にも細かな火山灰がたくさん降り積もったため、水が抜けにくい環境が成立し、湖となりました。こうしてできた湖と湿気による独特な自然環境の中で、奥の樹木や野草が育まれています。

城ヶ崎海岸（じょうがさきかいがん）

伊豆急行城ヶ崎海岸駅より
徒歩で約25分



城ヶ崎海岸は、約4,000年前に噴火した大室山から大量の溶岩が相模灘に流れ込むことでできた岩石海岸で、柱状節理などの溶岩流が作り出した様々な造形と海が織りなす美しい景観を楽しむことができます。海岸沿いには、歩きやすいピクニカルコース（全長3km）と美しい自然を残す自然研究路（全長6km）が整備されています。

大室山（おおむろやま）

伊豆急行伊豆高原駅よりバスで約20分



約4,000年前の噴火により作られた大室山は、伊豆東部火山群の中で最大のスコリア丘です。プリン型の山頂からは、このときに流れ出した溶岩がつくりだした伊豆高原の地形をはじめ伊豆七島や天城連山などを望むことができます。この美しい山体は、毎年春に行われる山焼きによって保たれ、国指定天然記念物となっています。



One Point！「スコリア」

粘り気の少ないマグマが火口から噴水のように吹き上ると、たちまち冷え固まって暗い色をした軽石になる。これがスコリアと呼ばれるものであり、スコリアが降り積もってできた山をスコリア丘という。



One Point！「柱状節理」

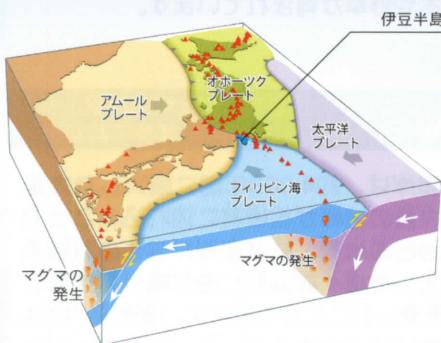
溶岩が冷え固まる際に体積が収縮してできる角柱状の割れ目。断面は六角形のことが多い。この角柱は熱が奪われる方向に向かって伸びる性質がある。



南から来た 火山の贈りもの

伊豆の大地を楽しもう！

伊豆半島は南の海で生まれ、本州と衝突して陸地となりました。この特異ななりたちは、海と陸の記憶を刻みこんだ地層や地形を私たちに見せてくれます。世界的にも貴重な伊豆半島だけの美しさ、ジオの恵みの豊かな食や温泉、文化といった、たくさんの「贈りもの」を楽しんでみませんか？



伊豆半島のなりたち

伊豆半島の歴史は約2000万年前までさかのほることができます。当時の伊豆は、本州からはるか南のかなた数百km先の太平洋の海底に沈む火山群でした。その後、フィリピン海プレートの北上に合わせて、日本の本州に接近、衝突。約60万年前に現在の半島の形になりました。半島となってから20万年前までは陸上のあちらこちらで噴火が起き、天城山や達磨山といった現在の伊豆の骨格を形づくる大型の火山が誕生しました。

これらの大型火山の活動が終わると、日本には数少ない単成火山群の活動が始まり、現在は「伊豆東部火山群」として活火山のひとつとなっています。また、プレートの動きは現在も伊豆の大地を本州に押し込み続けていて、緩やかな地殻変動により多様な地形を作っています。

